

目 次

1. 提言要旨	1
2. はじめに	2
3. 研究対象の選定	2
4. 問題提起	4
5. 現状把握	7
6. 本質追求	8
7. 目標設定	10
8. 提 言	11
9. おわりに	14

指定管理者制度に係る監視と評価の最適化

問題提起

- 職員の業務に対する責任意識の低下
- 事業者の業務に対する責任意識の低下
- 不適切な仕様による事業者の選定
- 問題発生時における責任の所在が不明確
- 職員の知識の低下
- 従業員の知識不足
- 過剰な指定管理料削減によるサービスの低下

本質追求

1 内部要因

- 知識の継承が不可能な体制
- 委任した業務に関心が薄い
- 不適切な仕様書の作成
- 不適切な指定管理料の積算

2 外部要因

- 経費削減による専門技術の消失
- 責任感の希薄化による業務の質の低下
- 知識の流出阻止による業務の質の低下

3 相互要因

- 不明確な責任分担による業務範囲の空洞化
- 責任転嫁による問題解決の遅延

目標

指定管理者制度の優位性を引き出す監視と評価の確立

具
体
策

【提言1】

職員による監視と評価

組織による知識と経験の継承により適切な監視と評価を行い、評価基準の作成と定期的な打合わせを行う。

【提言2】

第三者による監視と評価

監視と評価を行う専門知識を持つ業者により、行政と違った目線から監視と評価を行い、指定管理者の公共サービスの意識向上を図る。

【提言3】

評価を踏まえた効率化の確立

提言1、提言2から総合評価を行い、PDCAサイクルを機能させることにより、指定管理者の質の向上を目指す。

施
策

提言1

職員の公共サービスの意識向上、知識の継承が必要不可欠であり、職員総レベルの向上を目指し、適正な民間委託の監視と評価を行う。

提言2

監視と評価を行う専門知識を持つ業者など、外部からの視点により監視と評価を行うことにより、行政の死角を埋め、公共サービスへの意識向上を図る。

提言3

提言1、2を分析することによって、総合評価と提言を作成し、PDCAサイクルを機能させることにより、指定管理者の質の向上を目指す仕組みづくり。